



令和6年度 学校経営計画

1 教育目標

ふるさとや自他を愛し、主体的に考えて行動し、たくましく生きる児童の育成

2 教育方針

「石川の教育振興基本計画」「七尾市教育大綱・七尾市教育ビジョン」を踏まえ、「ふるさと七尾を愛し誇りに思い、輝く未来を切り拓く人づくり」の育成に向けた和倉っ子のための教育活動の推進を図る。

3 中・長期目標

- ◆自他を大切にす る あたたかい学校
- ◆進取の心で創出する 協働的な学校
- ◆ふるさと七尾・和倉を愛する学校



4 重点目標と努力事項

(1) 確かな学力の育成 (「なぜ、学ぶのか?」の学ぶ意義を共有)

◎学習者主体の学び → 付けたい資質・能力「課題解決能力」=「和倉っ子セルフ授業スタイル」

- ①自分で考える (自己選択・自己決定で個別最適な学び)
- ②自分達で学び合う (友達と知恵を出し合う協働的な学び)
- ③共感的な人間関係づくり (主体的・対話的で深い学びで、より質の高い学びに)

◎基礎・基本の確実な定着 → (各学年の学習内容の習得)

- ①学力ロードマップや学力向上プランでの共通実践 (組織的な指導体制)
- ②各種調査の検証結果や分析からの指導改善と授業改善 (指導力・授業力の向上)
- ③帯タイムの有効活用 (課題改善に向けた指導と共通実践)

◎with GIGAの積極的な推進 → (Next GIGAで、個別最適な学びと協働的な学びの一体化)

- ①1人1台端末やICTのよさを有効活用 → (自分に最適な学び方の自己選択・自己決定を)
- ②授業と家庭での有効活用 → (端末の持ち帰りでの反転学習から学びの拡充を)
- ③情報モラル教育の推進 → (ネットトラブルや非行被害防止、メディアコントロールの取組)

(2) 豊かな心の育成 (人権尊重を学校教育活動全体で)

- ①自他を尊重し合う人権教育、道徳教育、特別活動、キャリア教育の充実
→ (本物にふれる体験、出前授業などをカリキュラムマネジメントで)
- ②いじめに対する感度の向上、迅速(報告・連絡・相談)で組織的な対応を
→ (生徒指導の実践上の4つの視点をいかした早期発見と早期対応)
- ③不登校・問題行動等の未然防止に向けた「チーム支援」による連携と情報共有
→ (SC、子育て支援課や児相、警察、発達支援センターの各関係機関や幼保小中との地域連携)
- ④一人一人のよさを認め合う特別支援教育の充実
→ (自己肯定感や自己有用感を育む)
- ⑤児童会や縦割り班による異学年の体験活動、校外学習の充実
→ (無言清掃で心を見がく、「進取・協働・貢献」の心を)

(3) 心身ともに健康な児童の育成

- ①防災安全教育の充実（「学校安全総合支援事業」の研究）と危機管理意識の高揚
→（近隣校区3校や地域との連携、専門家を招聘しての研修の充実）
- ②基本的な生活習慣の推進
→（「早寝・早起き・朝ごはん、歯みがき、メディアコントロール」等、学・家連携した取組）
- ③体力向上の取組の推進
→（「体力アップ！校！プラン」「スポチャレいしかわ）の全校での積極的な取組）

(4) 家庭・地域とともに復興応援大作戦！ = 「和倉大好き！～がんばろう和倉！～」

- ①ふるさと七尾・和倉のリソース（自然、人、歴史・文化遺産等）を活かし、「進取の夢」をふくらませる「和倉大好き！復興応援大作戦」
（和倉よさこい祭りの参加、和倉の町のクリーン作戦、和倉温泉駅の花植え活動・・・）
- ②「ふるさと七尾・和倉」を「日本一の誉れあり」と自慢できる子の育成
（「ふるさと七尾 SDGs 教育」の探究学習や体験学習、SDGs の視点を with GIGA で）
- ③保護者や地域の方の意見や声、学校評価からの検証結果をいかした改善策
（保護者評価、学校評価 等）

(5) 「チーム支援」による全教職員での協働

- ①危機管理と危機意識の向上、「報・連・相」の徹底（見逃さず、迅速・丁寧に初期対応を）
（命と人権に関わることを優先に。一人で抱え込まず、全教職員での組織的な支援体制）
- ②教職員の各ステージの教員育成指標や研修履歴に基づいた資質・能力の育成
（若プロや GIGA 校内研修、服務規律についての研修の充実）
- ③WWS（わくら・ワーク・スタイル）による働き方改革の推進
（毎週水曜日の定時退校日（18時）、最終退校時刻（19時）を厳守、教育 DX や生成 AI の活用で業務改善と平準化、効率化）

5 めざす学校像

◆ 「自分・友達・和倉 大すき！」和倉っ子

6 めざす児童像

- 自ら考え行動する かしこい子（知）
- 自他を大切にする 心豊かな子（徳）
- 心身ともに健康で たくましい子（体）

7 めざす教師像

- ★使命や責任を自覚し、服務規律や法令遵守の徹底をする教師
- ★自ら率先して、知恵と工夫を出し合い、互いに自己研鑽し合う教師
- ★一人一人のよさや強みを最大限に生かし、「チーム和倉」の総力で協働する教師

